

名城大学チャレンジ支援プログラム

よくあるお問い合わせ

Q：名城大学チャレンジ支援プログラムでどんな能力が磨けるのですか？

A：本プログラムでは、各学部での講義（正課）とは別に、これからの社会を主体的に生き抜くために必要な「グローバル感覚」、「キャリア感覚」、「リーダーシップ&連携・協働感覚」を身に着けるためのサポートプログラムを展開していきます。

Q：名城大学チャレンジ支援プログラムを受講すると、就職活動等において有利になることはありますか？

A：このプログラムでは「キャリア・マインド」を養成することを一つの目的としています。また、アクティブラーニングや海外研修などを通じて自己成長を促すことができ、就職活動にも有利になるでしょう。プログラムに応募し、所定のプログラムを受講すると、大学から修了証明書が発行されます。また、「名城大学チャレンジ支援プログラム（学内選抜型）修了学生」として、履歴書に書くことができます。就職面接の際には、「学生時代にあなたがチャレンジしたことは何ですか」という質問を受ける機会が多くあるはずです。このプログラムで是非「チャレンジ」するものを見出してください。

Q：プログラム参加にあたって、自己負担費用はどのくらいですか？

A：海外研修参加時に研修費用として、東南アジア研修であれば 15,000 円、米国シリコンバレー研修であれば 30,000 円の自己負担が必要です。その他、パスポート申請にかかる費用や旅行保険、ESTA 登録費用（米国の場合）、研修先での雑費等は自己負担となります。

Q：1年生の応募要件となっている「成績上位 30%」に自分が入っているかどうかは、どのように判断したらよいですか？

A：申請書類提出期間が近づいたら、大学からポータルメール、もしくは掲示にて対象者へ通知します。

Q：成績によりプログラムへの申請対象と言われたのですが、必ず受講しなければなりませんか？

A：いいえ、強制的なプログラムではありません。更なる高みを目指す学生さんを支援するための、自主参加形式の選抜型自己実現支援プログラムです。選抜は、9月下旬から書類選考と面接によって実施される予定です。

Q：選抜はどのように行われるのですか？

A：一般枠、特別枠ともに、1次選考はエントリーシート（本学 WEB サイトからダウンロード可）による書類選考で行います。1次選考を通過した応募学生は2次選考へと進み、面接による選考が行われます。

Q：特別枠（1～3年生）の応募要件となっている「大学入学後の顕著な実績」とは、どのようなものを指すのでしょうか？

A：課外活動（クラブ活動）やボランティア等、様々なフィールドで活躍した学生に応募資格があります。実績の程度に関しては、自己評価による自薦にて応募いただいて結構ですが、プログラム運営委員会にて審査・選考を行います。なお、本枠にて応募いただく場合は、原則当該実績を証明する根拠書類（エビデンス）の添付が必要です。

Q：このプログラムの講義等の頻度はどの程度のものでしょうか。また、何曜日の何限に開講されるのでしょうか。

A：このプログラムでは、週1回程度のセミナー（月曜日6限（18：10～19：40）を予定）と2回ほどの土曜日を利用したワンデイ・セミナーを予定しています。また、その他、最初に1泊2日のオリエンテーション合宿、海外研修の前後には事前研修と事後研修が予定されています（春休みに合わせて3回程度）。

Q：関心のあるプログラムだけを部分的に受講することはできますか？

A：順次性をもったプログラムを構成しているため、原則部分的な受講は認めていません。ただし、正課の講義と時間が重複する等、特段の事情を有する場合は、事前に学務センター学生生活動までご相談ください。

Q：池上教授による講演は、プログラム受講生しか聴講できないのでしょうか？

A：プログラム受講生は優先的に聴講することができます。ただし、池上教授の講演については、プログラム受講生に選抜されなかった学生も含め、応募者全員に聴講できる権利が与えられます。